

三鷹市障がい者地域自立支援協議会（令和5年度第4回）議事要旨

日時：令和5年10月31日（火）18時30分～20時00分

場所：教育センター3階 大研修室・オンライン

出席委員：片桐朝美、岡田敏弘、新津健朗、堀洋一郎、福原理絵、高橋みゆき、平松百花、
赤岡かおる、菅原健、中野弘子、吉田純子、大野通子、瀧澤勤、加藤亮一、豊田未知、
海老原恵理子、鶴田明子、工藤勇太、渡邊幸治、上野たか子、高橋久実子、春日里江
事務局：立仙障がい者支援課長、荻野障がい者相談支援担当課長、竹内介護保険課長、
高橋子ども発達支援課長、他 8名

傍聴者：0人

（順不同、敬称略）

<配布資料>

- ・席次表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料1）
- ・委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料2）
- ・意見シート内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料3）
- ・専門部会について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料4-1）
- ・各専門部会の報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料4-2）
- ・第2回グループワークのまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料5-1）
- ・第三期三鷹市障がい者（児）計画のビジョンについて・・・・・・・・（資料5-2）
- ・第三期三鷹市障がい者（児）計画体系案（前回提示案との新旧対照表）・・・・（資料5-3）
- ・第三期三鷹市障がい者（児）計画体系案・・・・・・・・・・・・（資料5-4）
- ・第三期三鷹市障がい者（児）計画の素案について・・・・・・・・・・・・（資料5-5）
- ・グループワークの流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（資料6）
- ・第4回タイムスケジュール（予定）
- ・イベントのご案内
- ・意見シート

<持参資料>

- ・第二期三鷹市障がい者（児）計画
- ・令和4年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査報告書（概要版）
- ・令和4年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査報告書

1 報告事項

（1）意見シートについて

○ 事務局

（資料3）を用いて意見シートの内容について説明

(2) 専門部会について

○ 事務局

(資料4-1)を用いて専門部会について説明。

○ 会長

各部会第1回目が開催されたと思うので、部会長から今期の課題等について説明をお願いしたい。

○ A委員【生活支援部会】

生活支援部会は、10月20日(金)の18時から20時で第1回目を開催した。部会長や書記の選出をしようと思ったが、時間が限られていたため今期の課題決めについてのフリートークを行った。課題の結論は出ていないが、災害についてはテーマが大きいので新たに専門部会を立ち上げてほしいという意見が出ている。

また、親に対する問題として8050への予防を行わなくてはいけないのではないか、啓発活動をどのように行っていけば良いか検討したい。

別の問題として、グループホームの課題、報酬改定等があり、不安があるとの声が上がっている。

居場所について、今、不登校や引きこもりが増加していることが課題となっている。その方たちに対し居場所が必要になってくるのではないかという意見が上がった。

教育との連携という部分では、教育関係との連携、子ども発達支援センターとの連携を考えていかなければならない。サービスや支援につながる以前の敷居の低い段階での相談場所が必要になるのではないかと、といった意見が上がった。

まだ話を詰られていないが、第2回生活支援部会で役割分担や今期の課題について詰め、優先順位をつけていきたいと考えている。年間スケジュールについても同様に決めていきたい。

○ B委員【当事者部会】

当事者部会は、10月12日(木)の17時からハイブリットで開催した。

今期から、B委員とC委員そして相談支援センターの職員が当事者部会を支援者として協力していく。

部会長は次回以降決める。今期の課題については、前期の中で途中になっていた防災について引き続き取り組んでいく。また、当事者意見の計画への反映についての話し合いも行った。今後、当事者の意見を取り入れながら部会を進めていきたい。

○ D委員【就労支援部会】

就労支援部会は大きく2つ今期の課題として取り上げた。

1つ目は、前期から続いている共同受注のモデルケースについて。今まで工賃がない状態での実施だったが、今後、工賃がある状態で受注をしていく場合、事務局機能をどうするかといった点を1番のポイントとして取り組む予定。

2つ目は、短時間就労に関してのワーキングチームの作成。ワーキングチームの中で仕事の共有や、仕事をしたい人と雇用したい企業のマッチングなどのネットワーク作りを取組の1つとして進めていく予定。

今後のスケジュールは、年内にワーキングチームを作り、顔合わせをしたいと思う。

○ E委員【相談支援部会】

相談支援部会は現部会長の任期を考え、今期から副部会長を作った。

今期の課題については、ライフステージによって切れ目のない支援ということを前期に引き続き取り組んでいこうと思う。

今期も、各事例を作成し事例検討を実施し、枠作り、顔を合わせた繋がり作りを目的に活動していこうと思う。今期は、活動のスタートが少し遅れたので、大勢で集まり部会を実施するのは1回が限度だと思うので令和6年の1月から2月の間に開催できるよう準備をしていく。

皆さんのご意見をいただきながらたくさんの方が顔を合わせて一緒に検証できる場をつくっていききたいと思う。

○ 会長

次第1の報告事項で質問等あるか。

○ B委員

第1回目の当事者部会の活動報告で1つ伝え忘れていたので報告する。当事者部会実施日に令和5年度の障がい者のしおり(予定)の見直しということで資料を配布していただいた。

○ F委員

マイクで話していただいていると思うが、会話が聞き取れないので、マイクに顔をできるだけ近づけ、ゆっくり話していただけるとありがたい。

意見シートの内容について、意見シートの公開や、実態調査に対するご意見に回答してくださりありがとうございます。市として実態調査の結果を評価分析した何かしらの結果を知りたい。どう評価しているのかを知りたい。

○ 事務局

実態調査の結果については、第2回の協議会の中で重点課題の達成状況や変化等について説明したとおり、課題に関する実績や、実績に対しての評価を行った。この後の計画の素案の中で、第三期に向けてどのようにしていくかの記載をしていこうと考えている。

○ 会長

マイクで早口になってしまう点について申し訳ありません。発言する方はできるだけマイクに近くゆっくりと発言をお願いしたい。

2 第三期三鷹市障がい者(児)計画策定について

(1) 第三期三鷹市障がい者(児)計画における素案等について

○ 事務局

(資料7)及び、(資料5-1)～(資料5-5)を用いて第三期三鷹市障がい者(児)計画における素案等について説明。

○ 会長

第三期三鷹市障がい者(児)計画の素案についてグループワークを実施する。メンバーは(資料2)のとおり。グループワークの流れについて事務局から説明をお願いしたい。

○ 事務局

(資料6)を用いてグループワークの流れについて説明。

○ 会長

グループワークに入る前に、前回の協議会で三鷹市精神保健福祉士地域ネットワーク協議会から提言をいただき、それについて、前回返事をしていなかったのここで返事をさせていただきたい。提言については可能な限り計画の中に反映していきたいと考えている。またこのような提言に限らず、これから実施していただくグループワークの中で出していただいたご意見や意見シートでいただいた内容についても、計画の中にしっかりと反映したいと思っている。

(グループワーク 35 分程度)

○ 会長

グループワークが終わっているところから発表をお願いしたい。

○ D 委員【5 グループ】

5 グループは就労支援部会のメンバーが中心となっているので、大項目 5 を中心に話を進めた。

大項目5の中項目(2)障がいがある人の就労の推進というところで文言について話し合った。まず、①の障がい者の一般就労の推進という文言について、今の時代、多様な働き方がある中で、一般就労というのは少し限定的すぎるのではないか。特に三鷹市の実態調査の中で、多様な働き方が広がることが障がい者の就労に必要なことと意見をいただいているので、一般就労ではなく多様な働き方という文言の変更をすることで、具体的な項目も上げやすくなるのではないか。

次に②の雇用側への積極的な働きかけという文言について、一方的に働きかけるのではなく、雇用する側と雇用される側が相互に関係をつくり、それを支援する側も相互に関係をつくるといったネットワークをつくっていくことでより良い就労につながっていくのではないかと思う。積極的な働きかけではなく、相互に関係をつくってネットワークを構築していくというようなニュアンスの文章に変更を考えていただきたい。

次に③の福祉的就労の充実というところについて、就労支援部会で取組んでいる共同受注のモデルケースについて、実際に工賃がある状態での共同受注を実現するためには事務局の機能というものが必須になるので、事務局の機能をつくる際に市方も積極的な関わりを求めていきたいと思う。現在、障がい者施設のネットワークの構築を推進し、障がい者の工賃及び勤労意欲の向上に取組みますという文章はあるが、加えて事務局機能について市が積極的に関わっていくというようなニュアンスの文章を入れてほしい。入れていただくことで、就労部会としての活動が広がりやすくなると思っている。

最後④のところ、就労後の支援の充実と生活支援を含めた関係機関の連携という部分について、この文言の通り関係機関と連携しながら進めていければと考えている。

○ 副会長【2グループ】

2グループは新委員の方がいたので、今までの2グループの話し合いの共通認識を図りながら意見を交わした。

大項目3の(1)①わかりやすい情報提供の充実では、しおりだけではなく、多様なメディアを通じてより具体的なサービスを周知できる形を期待したいといった発言があった。

大項目5の(1)障がいのある人の社会参加の推進については、手話を使う人、使えない人両方を含めた事業が欲しいとの発言があった。同じ中項目の①社会参加の条件整理という文言について、社会参加をするのに条件というのは敷居が高いイメージがある。社会参加の制度整備のような感じで敷居が高くないイメージの文言だと良い。また、重度の方は、土日の外出が難しい側面もあるので、余暇の文言が計画に入るとより社会参加の促進にもつながるのではないかと感じる。

○ A 委員【1グループ】

グループ1では大項目4について話し合った。前回のグループワークの中で、項目を大人と子供で分けてほしくないと発言したところ、障がいのある人の生活支援の充実という中項目が出てきたが、私たちのグループが希望する「ライフステージを通じた切れ目の無い」といった言葉が入ってこない。この計画は、障がい者の計画なので、「障がいのある人の」という言葉を抜かし、「ライフステージを通じた生活支援の充実」にしていきたい。

小項目⑦の育てにくさへの支援について、育てにくさというのは家族への支援に入るので家族支援に移動していただき、代わりに、「生きづらさへの支援」というのを入れるのはどうか。

大項目4は小項目が細かく入っているため、整理、検討をしていただきたい。

○ G 委員【3グループ】

大項目3について、わかりやすい情報提供のわかりやすいというのは、障がい別によって変わってくるので、難しいと思うが、多様な手段を取りながら別け隔てなく色々な情報提供ができるようになると良い。インターネット等も大事だが、対応できない人もいると思うので、紙媒体での情報も進化させながらも残してほしい。

ホームページの作成について、市で検討しながら皆さんと一緒に取り組み、内容を濃くしていきたい。また、分かりやすい＝障がいのある人の視点だけでなく、障がいのない人にとってもわかりやすくなれば、共生的な社会につながるのではないかという話になった。

大項目4について、1グループと同様に、途切れのないという部分を大項目の中に入れてもいいのではないかと。途切れのない支援をしていくという大項目前提で、中項目に児童、障がい児、家族と3つ分けた方がいい。児童、障がい児から始まって障がい者、家族という流れで検討し、それぞれの特異な部分をさらに発展させればいいのではないかという意見になった。

○ H 委員【4グループ】

大項目3の(2)相談機能の充実について、相談員の数やマンパワーが増えない限りは充実を図るのは難しいのではないかと。

大項目6の(1)福祉人材の確保の部分について、現行事業について、当事者の方のマンパワーの事業が見た限り少ないので、小項目の①障がい者を地域で支える担い手の確保があるが、もう少し当事者の方が支え合うとか、力を発揮するみたいな事業ができることを期待した

い。

ビジョンについて、非常に整ったビジョンになったと思うが、ビジョンと体系案のつなぎができていない部分があるのではないかと。

来年度、精神保健福祉法が改正されるが、計画にはどのように盛り込まれていくのか次回以降、市の方から情報提供があると嬉しい。

○ 事務局【リモートグループ】

ビジョンを中心に話し合いを行った。「持てる能力を最大限に引き出す」という表現が「持てる能力を発揮し」に変わり、誰のためのビジョンなのかというところで、上からの視点での最大限に引き出すという方向よりも、自発的に能力を発揮するという表現に変わったことを評価する声もあったが、一方で重度の障がいの方については、自ら自発的に発揮することが難しい場合もあるため、やはり最大限引き出すというサポート支援が必要なのではないか、表現としては後退した感があるのではないかとといった意見もあった。委員から補足があればお願いしたい。

○ F 委員

ビジョンについて話し合った。持てる能力を発揮すると書いているが、当事者としては何をすれば良いかわからなくなる。また、支援の方へのヒアリングだけではなく、当事者へのヒアリングにも関わっていただきたい。

3 その他

○ 会長

最後にイベント等の告知などはあるか。

○ 事務局

(イベントのご案内)を用いて説明。

○ I 委員

クリスマスパーティ、恋人をつくろう 2023 を実施する。事業所の利用者で結婚を諦める方、友達が少ないとの声を聞き、みんなが集える場所を作ろうと始まった。新型コロナウイルスの間は休んでいたが、今年から再開するのでぜひ参加してほしい。

○ J 委員

武蔵野市とハローワーク三鷹と毎年合同開催で実施している障がい者の就労を考えるつどいについて、今年は、企業の方に向けて、障がい者雇用はじめの一步パート2 というタイトルで実施する。場所は武蔵野プレイスでの開催となる。後日、限定配信も行うのでよかったら申し込んでいただきたい。

○ 会長

次回、第5回自立支援協議会は令和5年11月30日木曜日の午後6時30分から、教育センター3階の大研修室で開催いたします。